

平成21年11月5日

22R保護者の皆様

島根県立松江南高等学校

校長 松本善美

学級閉鎖の解除について

11月2日～11月5日まで 22R生徒8名がA型インフルエンザあるいはその可能性ありと医療機関で診断され学級閉鎖の措置をとる旨のお知らせを致しました。

11月5日、生徒全員の健康状態の電話による聞き取り調査をしてみました。その結果、新たなインフルエンザ発生の疑いのある生徒はおらず、インフルエンザであった生徒も回復に向かっています。

学校医の指導も受け、今回の件での感染拡大の恐れは小さいと判断し、あす、金曜日から学級閉鎖を解除することといたしました。よろしくご了解のほどをお願いします。

一方、気温が下がり空気の乾燥するこれからがインフルエンザの本格的流行の懸念される季節かと思われます。ご家庭におかれましても引き続き感染拡大防止に努めていただきますようお願いいたします。

記

○今後の対応

- ・生徒全員の健康観察を実施し、症状があれば医療機関の受診をすすめています。
- ・うがい、手洗いの徹底など、感染予防に努めてください。
- ・ご家庭で健康観察をしていただき発熱等の症状があれば、登校を控え、医療機関で受診してください。(電話をしてから受診してください) 受診の際は感染拡大防止のために、マスクをつけ、公共交通機関の利用を避けてください。
- ・インフルエンザと診断された場合は、至急学校に連絡をお願いいたします。